

② 鳥類

種類数

市内では、現地調査では 81 種を確認、文献に載っていた鳥 164 種と合わせると、全部で 15 目 40 科 166 種でした。(この種数にはドバト、アヒル、アイガモを含みます。)

鳥と環境

調査区域を樹林などが多い千里丘陵上に設定したため、ツグミ類、ヒタキ類(キビタキ・オオルリ・サンコウチョウなど)、カラ類、キツキ類など、森や林の鳥がいろいろと見られました。また、農耕地や草地を好むケリがわずかにいましたが、ヒバリはいませんでした。なお、里山の林縁に多いホオジロがまったくないのが特徴です。ため池などでは、カモ類、サギ類なども多く見られました。ごく稀に、オオタカ、ハイタカが林などの上を飛んだりしていました。

季節変化など

季節ごとに見ると、冬に種類が多く、夏や秋には種類数にして冬の8割くらいの鳥しか確認できませんでした。春から夏にかけては、ツバメの渡来のほか、アカハラ、オオヨシキリ、エゾムシクイ、オオルリといった渡り途中の鳥などが見られました。秋にはメボソムシクイやセンダイムシクイ、サメビタキといった渡り鳥が通過していました。秋から冬にかけては、カモ類(マガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモなど)や、タカ類(ハイタカ、チョウゲンボウ)を初め、アオゲラ、アカゲラ、ルリビタキ、ジヨウビタキ、シロハラ、トラツグミなどが見られました。

いることがわかった鳥類

目名	: 種名
カイツブリ目	: カイツブリ
ペリカン目	: カワウ
コウノトリ目	: ミズゴイ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ
カモ目	: マガモ、アヒル*、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、アイガモ*、ホシハジロ、キンクロハジロ
タカ目	: トビ、オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ
キジ目	: コジユケイ、キジ
ツル目	: バン
チドリ目	: ケリ、セグロカモメ
ハト目	: ドバト*、キジバト
ブッポウソウ目	: カワセミ
キツキ目	: アオゲラ、アカゲラ、コゲラ
スズメ目	: ツバメ、コシアカツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、サンショウクイ、ヒヨドリ、モズ、カヤクグリ、コルリ、ルリビタキ、ジヨウビタキ、トラツグミ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ソウシチョウ*、ヤブサメ、ウグイス、オオヨシキリ、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、サメビタキ、コサメビタキ、サンコウチョウ、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、シジユウカラ、メジロ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、マヒワ、イカル、シメ、ニューナイスズメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス
計 12 目 32 科 81 種 (現地調査分のみ) *もと飼い鳥	



コガモ



コサギ



アカゲラ



ヒヨドリ



モズ



アオジ



ツグミ